

## 県育成ヤマトイモ新品種「ぐんまとろりん」の効率的な種イモ増殖法

### 研究のねらい

ヤマトイモ生産に用いる種イモの標準的な分割法は、首部50g、胴部60g、尻部70gです。しかし、種イモ増殖に適した分割法は、明らかではありませんでした。

現在、県では育成品種「ぐんまとろりん」の作付け拡大を進めていることから、本品種を供試し、増殖効率の高い種イモ分割法について検討しました。

### 技術の特徴

- 1 首部10g、胴部20g、尻部30g程度に小さく切る分割法は、植え付け後のイモの肥大倍率が高く、切断して得られる種イモ数も多いので増殖量が増えます(表1、写真1)。
- 2 小さく分割した種イモは、出芽までの日数をやや多く必要としますが、出芽率には影響しません(表2)。
- 3 本方法は「ぐんまとろりん」以外の棒形の優良系統にも応用することができます。

表2 種イモの部位別重量および定植日が  
出芽日数と出芽率に及ぼす影響

種イモの 部位・重量	定植日から出芽までの 日数(日) ※		出芽率 (%)	
	5月20日 定植	6月4日 定植	5月20日 定植	6月4日 定植
首部 10g	38	38	100	97
胴部 20g	40	36	93	100
尻部 30g	43	37	100	100
首部 30g	33	34	100	100
胴部 40g	37	33	97	97
尻部 50g	39	35	100	97
首部 50g(標準)	33	33	100	100
胴部 60g(標準)	35	33	100	100
尻部 70g(標準)	38	36	100	100

※ 80%の株が出芽に要した定植後の日数

表1 「ぐんまとろりん」の種イモ部位別重量の違いによる肥大倍率と250gの種イモ1個体からの増殖量シミュレーション

定植時期	(植付時)		増殖量シミュレーション				
	種イモの 部位・重量	イモ重 (g)	肥大 倍率 (倍)	植付時 (kg)	1年後 (kg)	2年後 (kg)	3年後 (kg)
5 月 中 下 旬	首部 10g	133	13.4				
	胴部 20g	238	11.9	0.250	2.92	34.0	397
	尻部 30g	287	9.5				
	首部 30g	280	9.3				
	胴部 40g	326	8.1	0.250	2.00	16.1	130
	尻部 50g	344	6.9				
6 月 上 旬	首部 50g(標準)	360	7.2				
	胴部 60g(標準)	426	7.1	0.250	1.78	12.7	90
	尻部 70g(標準)	497	7.1				
	首部 10g	112	11.2				
	胴部 20g	260	13.0	0.250	3.12	38.9	485
	尻部 30g	276	9.2				
6 月 上 旬	首部 30g	271	9.0				
	胴部 40g	341	8.5	0.250	2.08	17.5	146
	尻部 50g	365	7.3				
	首部 50g(標準)	395	7.9				
	胴部 60g(標準)	462	7.7	0.250	1.86	14.0	106
	尻部 70g(標準)	460	6.6				

### 今後の取り組み

普及組織と連携して計画的な種芋増殖に努めるとともに、周辺環境に配慮した新しい土壌消毒法の確立を目指します。

(執筆者：畠山 雅直)



写真1 種イモ切断(240g)の例

- ①首部10g、胴部20g(20g×10個)、尻部30g
- ②首部30g、胴部40g(40g×4個)、尻部50g
- ③首部50g、胴部60g(60g×2個)、尻部70g